

第7回外部評価委員会

日 時： 平成 21 年 4 月 4 日（土）10 時～12 時 40 分

会 場： 九州大学創立五十周年記念講堂 4 階大会議室

出席者： 委員長 清成忠男氏

委 員 南原晃氏、岡松壯三郎氏、橋田紘一氏、小早川明德氏、高田洋征氏
上山信一氏、唐池恒二氏、有信陸弘氏、翁百合氏他

教 員 経済学研究院教員

アジェンダ： ・平成 20 年度実績報告

・委員会の質問

・委員の評価

・総括

内 容： 平成 20 年度の九州大学経済学府産業マネジメント専攻の活動に対して、第 7 回外部評価委員会において、外部評価委員よりいただいた主なポイントは以下のとおり。

< 要望・アイデア >

- ・マンネリ化せずにチャレンジを継続し、魅力あるプログラムを作って欲しい。
- ・大学基準協会の認証評価を取ったということだが、国際的に通用する M B A にして欲しい。
- ・農業関係、環境関係、地域振興関係、ソーシャルビジネス関係、文系産学連携等を考えてほしい。
- ・民間企業に宣伝して受託研修業務を増やし、企業の問題に対する解決策を提供してほしい。
- ・経営道も考えたリーダー養成プログラムも考えてほしい。
- ・アジアに近い福岡の特徴を反映してアジアを視野に入れた教育をしてほしい。
- ・ベンチャービジネスや大学発ベンチャー支援を考えられるようにしてほしい。
- ・中国人を秋に合格させて日本語を半年勉強させて春から始めてもらう仕組みを作れないか。
- ・2011 年の 4 月からの J R 博多駅では世界のビジネススクールに負けないいいものを作って博多駅のブランドと品格が高まるようにして欲しい。
- ・今後 Q B S の卒業生が活躍してくれることを期待する。

< 意見 >

- ・あまり何でもやるのではなく自ら決めた方針に従いフォーカスを持ってやって欲しい。
- ・九州新幹線の開通で、九州の自治体、外郭団体、大学等の人も取り込むことが可能になると思われる。
- ・プログラムは少数科目でもしっかりグローバルスタンダードを教える方法と、多様な学生に多様な科目を提供し選択させる方法と 2 種類ありうる。Q B S はどちらの道に行くか。

< 評価 >

- ・6 年たっても形骸化せず絶えず進化し続けていることを評価する。
- ・外部評価委員の意見を真摯に受け止めて対応している。

以上